

大会特集号「大会骨子」  
ふれあい住宅デー  
6月11日（日）  
市内各所で開催

# 土建にいざ

埼玉土建一般労働組合新座支部機関紙

## 発行所

埼玉土建一般労働組合新座支部  
〒352-0011 新座市野火止8-1-27  
TEL048(481)1200 Fax048(477)9088  
発行人 恩田 宏  
編集責任者 岡野 和夫  
5月号 定価30円（購読料は組合費に含まれています）

# 7年ぶりの単月実増！ 新年度へ向けた大きな一歩



## 春の拡大月間打上式

4月27日（水）、春の拡大月間の打上式が支部事務所を会場に69人の参加で開催されました。河又副支部長の開会の挨拶から始まり、恩田支部長の挨拶、廣間書記長の拡大

月間の報告が行われました。今月間はコロナ禍が少し落ち着いてきたのか人の動きが多く4月単月の成果で言えば7年ぶりの単月実増を勝ち取りました。全県で2番目に高い増率です。

拡大目標も110人に対して131人まで積み上げ8分会が目標を達成しました。各分野での表彰が行われ大和田分会は全県1位の目標達成率でした。最後に三浦青年部副部長の団結ガンバローで解散しました。

2023春の拡大月間・「春大一番」目標

	支部目標 4/27 【100%】	到達	4/27 100%残		2023/4/28 現在			
			達成率	青年部 目標	到達	主婦 目標	到達	
栗原	7	10	-3	142.9%	1		2	1
野寺	8	2	6	25.0%	1	1	2	2
石堀	13	13	0	100.0%	1	3	2	5
御成橋	9	10	-1	111.1%	1		2	
片山	11	9	2	81.8%	1	1	2	2
栄池田	9	6	3	66.7%	1	1	2	3
馬場	8	13	-5	162.5%	1	1	2	3
畑中	12	8	4	66.7%	1		2	2
野火止南	8	12	-4	150.0%	1		2	1
野火止北	12	12	0	100.0%	1	4	2	2
北東	7	15	-8	214.3%	1		2	1
大和田	9	21	-12	233.3%	1	4	2	2
	110	131	-21	119.1%	12	15	24	24



← 書記長賞1位獲得の石堀分会



→ 233%の達成率を出した大和田分会

▼「拡大月間が無ければ本当に良い組合なんだがなあ」と仲間から良く聞く言葉である。確かに長丁場です。週1回の統一行動は昼間働いて夜から行動は大変である。現在の様に、事業所からの加入が8割を超える時代には対象者訪問より組合員訪問の方が多

い。「また来たのかよ」、「対象者などいないよ」など言われることが多い。昔は自分や仲間からの対象者宅に向き加入書を書いてもらう時は本当に嬉しかった事が懐かしい。▼組合結成から50年以上、組織拡大を組合活動の柱としてきた歴史があり、仲間の諸要求実現の為に必要不可欠である数々のドラマを生んできたのも拡大である。今年の

「春の拡大月間」では統一行動の最終日に支部事務所へ行くこと目標達成まで残り1人となっていた。12分会から行動報告があり、3人の成果ががり見事目標を超過達成。その瞬間仲間から大きな拍手と歓声が上がった。佐藤組織部長が本日に「新座支部110人の目標を達成しました」と報告すると、本部の人達からも万歳の大きな拍手があり仲間と喜び合う感動なドラマであった。本当にお疲れ様でした。

【H・O】

# アスベスト大宣伝

## 作り続けた メーカーにも責任はある

4月19日午後6時から、志木駅南口で拡大アスベスト宣伝が行なわれました。書記含め、9分会37人の仲間が集まり署名8筆と、ポケットティッシュ500個を受け取ってもえしました。

建設アスベスト訴訟は、一定の条件下で国の責任が確定し、全国での和解が進んでいます。一方、アスベストが含まれる建材を作っていた建材企業は、その責任を認めようとはしていません。私たちは早期の全面解決と建材企業が拠出する基金制度の創設を目指す、通行中の方にマ



横断幕を広げ通行者にアピール

イクで呼びかけ、パネルを持ってスタンディングをする方、署名を持って呼びかける方などに分かれ一生懸命呼びかけました。

ある女性の方は、立ち止まって宣伝に耳を傾けてくれていました。話しかけると、

「アスベストって、身近な問題ですよね」と語り、「私たちは建材メーカーにも責任があると訴えています」と説明すると、「確かに作り続けたメーカーにも責任はありますね」と快く署名してくれました。また、別の方は、「私は少し建設関係で仕事をしています。アスベストはいっ

発症するのかわからない。怖いですね」と話して署名してくれました。新座支部では毎月アスベスト駅頭宣伝を行っています。宣伝への参加や署名にもご協力をお願いします。

【馬場 小野由美子】

## 親睦を深める機会を これからも

3月26日、恒例の野火止北分会と北東分会のバスハイクが大人28人子供5人の計33名の参加で行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、そのおかげで行きも帰りも道路はガラガラ、各立ち寄り所ではゆっくり過ごす事が出来ました。

新座を出発したのは8時頃でした。海ほたるパーキングで休憩をとり、最初の見学地はテレビでも取り上げられた「はちみつ工房」

です。ここでは実際にハチの巣から蜂蜜を取ったり、ハチミツで作っているお酒の試飲が出来ました。「試飲で酔っちゃったよ」と言っていた仲間も数名いました。

次は今回のメインである漁師料理たてやまにて貝焼きバイキングの昼食です。ホタテ、ハマグリ、サザエ、カキ、エビ、練り物、海鮮井などが食べ放題です。時間は7分とちょっと短めでしたが、仲間

間は皆舌鼓を打っていたと思います。

昼食を満喫した後は館山いちご狩りセンターで30分食べ放題に行きました。「もう食べられないよ」と声が聞かれましたが終わってみれば「結構食べられたよ」、「別腹だね」、「30個以上食べました」なんて強者もいました。今回2種類のいちごを食べましたが、どちらもとても甘く美味しかったです。

そこから30分位で着く「道の駅保田小学校」にも寄りまりました。

ここもテレビなどで紹介された有名な場所です、廃校を再利用したお店で食べる人気の揚げパンは昭和を思い出させるとてもおいしく懐かしい味がしました。

揚げパンを堪能した一行は金谷港からカーフェリーに乗って久里浜港へのプチクルージングです。残念ながらカモメとは遊べませんでした。途中で雨もやみ、子供たちは甲板を走り回って遊んでいました。それからバスで休憩を取りながら2時半頃新座に帰ってきました。

美味しいイチゴは別腹



【野火止北 河又誠】



フェリーの看板にて



ハチの巣から蜜を絞って

# 第53回大会議案 骨子

## たたかひの経過と教訓

①3年に渡り続いたコロナ禍に加え、アベノミクスの失政とロシアのウクライナ侵略によって、物価・資材が高騰し、現場ストップや工期の遅延などが相次ぎ、暮らしへも大きな影響を受けています。今年度も全県各支部で対市交渉、また、あらゆる専門家・士業、議員の力も借り、引き続き、相談体制も強化してきました。新座支部では、新座市の財政緊急事態宣言の解除にともない「市民本位の市政」を要望し、新しい生活様式（感染症対策）も含めた、以前のような住宅リフォーム工事への恒常的な助成制度の創設（復活）を要望しました。

②2023年度の公共工事設計労務単価が全国・全職種の単純平均値で5.2%が引きあがりました。11年連続の上昇で、2012年比で65.5%（全職種平均）の引き上げ、全国・全職種の加重平均値で2万2277円に上り、1997年度以降で最高値を更新しました。埼玉土建のアンケート結果では、労働者の平均賃金は月額1万6300円と17円減、手間は2万256円と1650円増、一人親方は2万818

円と1818円増となり、労働者はほぼ横ばい、一人親方、手間は昨年より増加した結果となっております。発表された設計労務単価とかけ離れた実態が浮き彫りとなっております。新座支部では9月と3月の2回、「現場交流会（資本従事者の会）」と名称を新たに建設情勢と大手企業交渉に向けた現場情報の交流を行いました。

### 政治・経済・平和をめぐる情勢

③2024年4月から「働き方改革」が建設業で始まり罰則付き残業時間上限規制実施となります。新座支部でも「3連続セミナー（8月・働き方改革とは／9月・就業規則・36協定／10月・ハラスメント対策）」を開催しました。引き続き、士業の力も借りながら、就業規則の作成を呼び掛け、雇用契約の締結・管理や就業規則の完備をめざしていきます。

④第45回ふれあい住宅デー（2022年6月12日）は、コロナ禍から少しずつ取り戻す組織活動の出発点として開催しました。

新座支部では、3年ぶりの一日開催でしたがコロナ禍前に使用していた会場がまだ使用できなかったなどの声が届く中でも12分会12

より「主体的・積極的」に「戦争する国」へと変貌させる危険極まりないものとなりました。憲法9条の規範性を回復させ、絶対に戦争を起させない平和外交の路線を徹底していくしかありません。

### 1、ロシアによるウクライナ侵攻状況と国際的な動き

ロシアのウクライナ侵略開始から2月24日で1年となりました。未だ停戦のめどはたつておらず、ウクライナに武器を供与する欧米とロシアとの対立は深刻化しています。このロシアによるウクライナ侵略を防げなかつた要因は、ロシアも含めた多様な価値観を持つ国々との軍事対軍の悪循環に陥つたことにあります。軍事同盟・軍事ブロックでは平和はつくれぬ、これこそがヨーロッパの教訓です。

## 新年度の運動の重点

### 1、賃金労働対策分野

①「生活する上で必要な「賃金」の在り方について、職種別会議や工場別会議などで、全ての階層、全ての丁場の従事者で「暮らしが成り立つ賃金」「若年層が建設業へ入職し、将来に希望が持てる賃金」を獲得するため、賃金討議を行っていきます。

### 2、技術住宅対策分野

①地域循環型経済をめざして運動に取り組みます。住宅リフォーム助成制度の恒常的な復活など、地域住民の生活向上に役立ち、地域建設業者の経営に貢献する諸制度を求めていきます。

度施行による消費税の増収を2480億円と試算し、インボイス制度は「税率変更によらない隠れ増税」です。私たち建設業者やフリーランスの人たちの営業とくらしを追い込むインボイスは延期ではなく、中止・廃止しかありません。

### 建設産業をめぐる情勢

①、大手資本減益も受注が集中、設計労務単価の上昇を賃金の引上げに  
大手・準大手ゼネコン26社の23年3月期第3四半期の連結決算は全体の半数を超過14社が前年同期からの

「営業減益」で推移しています。業績悪化の要因となっているのが「物価高騰」による影響と考えられます。特に物価変動の影響を受けやすい大型の建築プロジェクトを中心に、もともと受注段階での採算が低下していたところに、資材価格の高騰が追い打ちをかける構図は依然として変わっていません。「適正な競争環境」を求め価格だけで競争する事から転換すべきです。

今回は新たに建設キャリアアップシステムの能力評価を反映し、全職種の平均金額が最高値を更新するのは5年連続です。組合として新たな設計労務単価を反映した公共工事の確実な実施と、すべての下請を含めた現場従事者の賃金に行き届くための対策を自治体に求めていく事が重要です。

③、建設業の外国人労働者、過去5年で最高  
厚生労働省が1月27日に公表した22年10月末時点の外国人雇用状況によると、建設業の外国人労働者数は21年同月末比6.2%増の11万6789人となりました。

### 2、23年度公共工事設計労務単価5.2%上昇11年連続の引き上げ

国23年度の公共工事設計労務単価を発表しました。強化にむけて計画的に議論していく委員会を設置し、中長期的な展望をつくりあげていきます。

### 6、新座支部独自の取り組み

①新座市や市議会に対して要望や意見書採択などの運動に取り組みます。  
また市長懇談では組合の要求を市長に届けて、仲間の要求実現に向けた運動をすすめます。

②来年2月に予定されている新座市議選では仲間の仕事とくらし、組合方針にもとづいた市民本位の市政を目標とした運動をすすめます。

### 4、社会保障対策・共済分野

①2023年度は国保料の改定がありませんが、2024年度以降の国保財政に ついて、単年度収支の均衡や安定的な積立金の確保による財政基盤の確立、魅力ある給付制度等で国保組合員を増やし、保険者機能を

### 5、組織建設、組織の強化

①「仲間意識づくりの場」 「役員の成長、役員づくりの土壌」として再認識された「組織納入・班会議」を「コロナ前の座って話す班

# 労働協約をめざして 「働くルール」づくりを

## 【運動の経過】

### 1、賃金アンケートの結果

要求賃金については、日額平均2万4362円、月収平均5万520円、年収平均747万円となりました。全体の要求賃金額は760万円と確認しました。

### 2、賃金調査活動

労働者の平均賃金は日額1万6300円と17円減、手間は2万256円と1650円増、一人親方は2万818円と1818円増となり、労働者はほぼ横ばい、一人親方、手間は昨年より増加した結果となりました。

### 3、公契約条例制定に向けた取り組み

新座市から「制定市に訪問し研究はしているが、担当課の人員不足や自治体として、労働者の賃金などに踏み込んで良いのかと不安を持っている」との回答がありました。

### 4、賃金運動をすすめる取り組み

①資本従事者の会  
第1回(9/14)は13人、第2回(3/23)は14人の参加で行いました。参加者全員が自分の現場の実態について発言し、賃金や休日、CCUS、コロナ対策、資材価格高騰の影響等

### 5、建設キャリアアップシステム

今年度は技能者登録3カ年目標の2年目で、支部では目標284人に対して、技能者登録者数227人、達成率80%(基幹システム4月3日時点)となっています。

### 6、建設業の「働き方改革関連法」に対応した学習運動

「事業主、労働者どちらもからも被害者を出さない」ため、事業主を対象とした働き方改革セミナーを3部構成で開催しました。

### 7、アスベスト労災認定の

取得状況  
今年度は、じん肺・アスベスト関連疾患2件(肺がん、石綿肺)、その他の職業病1件(肘部管症候群)の労災認定を勝ち取りました。

## 取り組み状況

### 8、建設アスベスト訴訟経過報告

被告の建材企業らは、継続する裁判においていまだ原告側と争う態度を改めていません。年内もしくは年度内には、東京1陣差し戻し審をはじめとする各訴訟の結審や判決が出され、建材企業と「大山場」のたにかいになります。

### 9、労働安全衛生委員会

第1回(8/26)では、労働安全衛生生活動の学習

### 10、アスベスト対策

給付金の対象となる可能性が高い労災認定者に対して、「情報提供サービス申請」の流れで、「未申請者ゼロ」を目指していきます。

### 11、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 12、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 13、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 14、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 15、自治体対策

新座市との折衝では「住

## 技術・技能の向上、仲間の仕事と経営を守る取組

### 【運動の経過】

1、第45回ふれあい住宅デーの取り組み  
6月12日を中心に全県(猿島地域含む・別日程1分会)で行われ、今年度はコロナ禍から少しずつ取り戻す組織活動の出発点として位置付け、新座支部でも12分会12会場で取組まれました。

### 2、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 3、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 4、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 5、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 6、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 7、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 8、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

## 取り組み状況

### 1、適切な賃金・単価をめざして

埼玉土建全体の要求賃金として賃金討議アンケートの結果をもとに年収760万円を目指し、7.3%の引き上げを要求していきま

### 2、賃金調査活動

4月に賃金アンケートを実施し、仲間の賃金実態を分

### 3、求人求職情報

新座・朝志和・ふじみ野合同で毎月1回求人求職情報誌を発行してきました。

### 4、改正石綿規則の周知

2022年4月からはアスベストの含有有無に関わらず全工事にて、必ず調査・報告が必要で、一定規模以上の工事(解体部分の床面積の合計が80㎡以上の解体工事、または、請負金額が100万円以上の建築物の改修工事)に該当する場合は、あらかじめ電子届等で事前調査の結果を労働基準監督署および地域自治体

### 5、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 6、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 7、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 8、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

## 取り組み状況

### 1、適切な賃金・単価をめざして

埼玉土建全体の要求賃金として賃金討議アンケートの結果をもとに年収760万円を目指し、7.3%の引き上げを要求していきま

### 2、賃金調査活動

4月に賃金アンケートを実施し、仲間の賃金実態を分

### 3、求人求職情報

新座・朝志和・ふじみ野合同で毎月1回求人求職情報誌を発行してきました。

### 4、改正石綿規則の周知

2022年4月からはアスベストの含有有無に関わらず全工事にて、必ず調査・報告が必要で、一定規模以上の工事(解体部分の床面積の合計が80㎡以上の解体工事、または、請負金額が100万円以上の建築物の改修工事)に該当する場合は、あらかじめ電子届等で事前調査の結果を労働基準監督署および地域自治体

### 5、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 6、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 7、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 8、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

## 取り組み状況

### 1、適切な賃金・単価をめざして

埼玉土建全体の要求賃金として賃金討議アンケートの結果をもとに年収760万円を目指し、7.3%の引き上げを要求していきま

### 2、賃金調査活動

4月に賃金アンケートを実施し、仲間の賃金実態を分

### 3、求人求職情報

新座・朝志和・ふじみ野合同で毎月1回求人求職情報誌を発行してきました。

### 4、改正石綿規則の周知

2022年4月からはアスベストの含有有無に関わらず全工事にて、必ず調査・報告が必要で、一定規模以上の工事(解体部分の床面積の合計が80㎡以上の解体工事、または、請負金額が100万円以上の建築物の改修工事)に該当する場合は、あらかじめ電子届等で事前調査の結果を労働基準監督署および地域自治体

### 5、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 6、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 7、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 8、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

## 取り組み状況

### 1、適切な賃金・単価をめざして

埼玉土建全体の要求賃金として賃金討議アンケートの結果をもとに年収760万円を目指し、7.3%の引き上げを要求していきま

### 2、賃金調査活動

4月に賃金アンケートを実施し、仲間の賃金実態を分

### 3、求人求職情報

新座・朝志和・ふじみ野合同で毎月1回求人求職情報誌を発行してきました。

### 4、改正石綿規則の周知

2022年4月からはアスベストの含有有無に関わらず全工事にて、必ず調査・報告が必要で、一定規模以上の工事(解体部分の床面積の合計が80㎡以上の解体工事、または、請負金額が100万円以上の建築物の改修工事)に該当する場合は、あらかじめ電子届等で事前調査の結果を労働基準監督署および地域自治体

### 5、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 6、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

### 7、自治体対策

新座市との折衝では「住

### 8、安全安心のまちづくり

9月27日に12分会28人の参加で、修繕・改善箇所53件・前回の点検11件のウオ

# 土建国保を守り 社会保障の拡充を 求めるたたかい

## 【運動の経過】

### 1、予算要求・補助金獲得の取り組み

予算要求ハガキ要請行動に取り組みました。

夏は3780枚(75.1%)、秋は5220枚(105.8%)の到達でした。各班に回収用封筒と、「記入例を記載したポスター(A3)」掲示を依頼。

班会議当日に記入をするこ

とを呼びかけました。

2、国保料減免制度  
全県では累計で104件

## 仲間の助け合い事業 どけん共済会

### 【運動の経過】

#### 1、総合共済 給付状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、申請件数が増加する中、総合共済では、療養している仲間へ寄り添った給付を行なう観点から、「みなし入院」の措置を継続してきました。未申請の仲間を減らす取り組みとして、春の拡大月間での未申請者への声掛けや、個別に対象の方へ申請の案内を送る等、未申請のままとならないように取

### 5、健康診断の受診率向上の取り組み

2022年度は引き続き新型コロナウイルスの影響により、2021年度同様1000人までの人数制限、分会の受付が行えない中で開催されました。今年度の特定健診受診率は59.2%(全体52.5%)でした。

6、第34期保健大学  
新座支部からは補講制度を活用しながら、3名が卒業しました。

7、インフルエンザ集団予防接種  
朝志和支部と合同で開催し、それぞれの支部で150人ずつの予約枠全てが埋まりました。新座支部では

139名が当日接種をし、13名が組合のみ加入のインフルエンザ予防接種補助を利用しました。

1、土建国保を守るたたかい  
岸田政権は、現行保険証を2024年秋に廃止する方針を表明しました。私たちの生活の網である土建国保を守るために、全建総連とともに運動を広げていきます。

2、保健委員の活躍の場を広げる  
新年度最初の社保対部長会議に保健委員全員が参加

4、自転車保険  
再開の時期については、まだ集会所では会議を開催する事が出来ない状態である事から、コロナウイルスが5類へ移行し集会所等での会議利用が可能となり、新役員学習会等で班での審査方法と給付方法を学習しからの再開としていきます。

3、総合共済  
引き続き、これまで拡充してきた制度の宣伝・普及をすすめていきます。

4、どけん火災共済・地震共済  
第1推進期間を中心的な取り組みとし、火災共済は20%への回復、地震共済は付帯率30%を目指します。

5、自動車共済

## 教育宣伝 と学習活動 について

### 【運動の経過】

#### 1、機関紙活動

新たな企画として役員紹介や現場から見た景色など機関紙に興味を持ってもらえるよう作成しました。

2、分会ニュースについて  
年1回以上の分会ニュースは全分会が発行。1年間定期発行した分会は3分会でした。

3、分会ニュース作成会  
10月23日、学習会後に開催し、10分会15人が参加しました。拡大速報は2分会が作成し、分会ニュースは7分会が発行しました。

4、機関紙コンクール  
日本機関紙協会埼玉県本部50周年機関紙コンクールでは「土建にいざ」が佳作を受賞しました。2023年新年号機関紙コンクールでは「土建にいざ」が審査員特別賞を「にいざ主婦の会」が佳作を受賞しました。また、第46回埼玉土建機関紙コンクールでは「栗原分会」が写真賞、「馬場分会」と「大和田」分会が記事賞を受賞しました。

【新年度方針】

1、機関紙活動  
読まれる機関紙を目指

し、仲間の顔や声が出る連載記事を作成していただきます。

2、分会ニュース(速報)作成会  
過半数の分会が定期発行出来るよう、雛型や見本を使った作成会を年1回以上開催します。

1、労働学校  
2月19日に岡野部長を講師に労働学校とは何かを学ぶブレ労働学校を開催し10分会25人が参加しました。

2、学習の友  
2023年4月からは学習の文献として学習委員会費で予算をとり支部常任・書記局19名に渡しました。

【新年度方針】

1、分会新役員学習会  
組合業務・共済審査・班会議での財政処理など実務面を重視した役員任務の学習を中心に行います。

2、専門部役員学習会  
分会から選出された専門部長が、各専門部で何の業務・運動を行うのかを学習する会議を計画します。

3、労働学校  
次世代層の参加を重視した開催方法などを検討しながら行います。

4、要求実現へ向けた学習  
8月には県知事選挙、24年2月には新座市議会議員選挙が行われます。労働組合として平和を守る思いや要求実現に向けて、学習運動を強化します。

2、どけん火災・地震共済  
2022年3月世帯数の2%・45件を目標に、今年度の加入者は火災共済21件、地震共済は6件の到達となりました。自動車の見積もり運動では、本部目標値65件に対して158.5%の到達となり、全県で4番目の成果となりました。

【新年度方針】

1、仲間のメリットを広げ、組織の強化・定着につなげる  
秋の拡大月間を中心とした「第1推進期間」、春の拡大月間を中心とした「第2推進期間」と位置づけ、活動サイクルの確立をすすめます。

2、総合共済の班審査と班からの給付再開

3、総合共済  
引き続き、これまで拡充してきた制度の宣伝・普及をすすめていきます。

4、どけん火災共済・地震共済  
第1推進期間を中心的な取り組みとし、火災共済は20%への回復、地震共済は付帯率30%を目指します。

5、自動車共済

# 組織を拡大強化する闘い

## 【運動の経過】

### 1、組織建設の到達

全県の2023年3月現勢は、6万4811人で確定、2022年3月から1857人減・増減比マイナス2.82%、新座支部では「1人以上の実増」を目指すことを第一の目標に『次の世代に繋ぐ一年、仲間の想いをチカラに年度末実増を勝ち取ろう!』をスローガンに進めましたが、2023年3月現勢は「2443人」で確定し、2022年3月現勢「2518人」から組織を実増させることはできませんでしたが、支部機関会議で確認した「3-1加入の追及」を最後まで奮闘した結果、「3-1加入・42人(昨年33人)」の成果を積み上げて着地することができました。

### 2、組合活動の「新しいカタチ」

活用している3つのSNS(支部LINE、支部ブログ次世代YouTube)を継続して、特に支部LINEの活用は、この一年間で登録者が53人増、毎月の定例配信、拡大ニュースなどのべ31通を重ね、様々な情報を仲間に向けています。

**3、分会・班の活動について**

新座支部では、組織納入の再開から少しずつ対面での署名活動や対話も再開してきました。今後は、「座つて話す班会議」、「共済の班審査・組織ルート給付」の復活をすすめます。

新しい役員づくりでは、秋の拡大月間を成功させたあと、年末・年始での「分会常執会議の開催」、「集める集まる(交流会)」を計画・開催して次年度の分会・班役員体制の相談をすすめました。

### 【新年度方針】

#### 1、組織建設目標について

第13期3カ年計画の2年目として、「持続可能な組織強化」勝利の方程式を本格的に確立させ、「組織拡大」と「役員づくり」を相乗的にすすめ、組織2500の峰を築く土台を作り、2024年3月現勢の実増を何としても勝ち取り、その先に1%実増を見据えます。

年間の組織建設目標は、拡大数(13%)と脱退数(12%)を基本に、何が何でも年度末の組織実増を掴み取るために、『新体制に託されたバトン、組織活動の復活をチカラに年度末実増を勝ち取ろう!』をスローガンに進めていきます。

**2、支部・分会常任執行委**

## 員・班役員の再確立

新たな体制となった支部常任執行委員体制の強化と数年前を見据えた役員体制の構築を組織的にすすめます。また、分会・班の到達と活動、役員体制、地域性など総合的な検討をすすめます。

### 3、「座つて話す班会議」の再開に向けて

コロナ禍になり、仲間の命と健康を守る立場から班会議が一時中断を余儀なくされましたが、少しずつ組織活動を取り戻す中で、組合費だけは組織納入を再開してきました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更(2類から5類に移行)に伴い、新座市の公共施設の制限も解除が予想されることから、「座つて話す班会議」の再開に向けて準備をすすめます。

現時点で「いつから再開」は明言できない状況ですが、再開の基準は「公共施設の制限解除」に合わせっていきます。

また、総合共済の班審査も合わせて再開しますのでも、再開前には分会・班役員学習会も実施していきます。

## 次世代の組織化と活動家づくり

### 【運動の経過】

#### 1、分会部長の選出状況

分会次世代対策部長は12分会中6分会から選出され、補佐役としての部員は3人選出されています。

#### 2、親子工作祭り(202

### 2/8/28)

対面での開催を予定していましたが、コロナ禍により対面ではなく、グッズを渡して動画配信を行うオンライン開催で行いました。

#### 3、次世代マズ釣りの報告(11/6)

有間溪谷観光釣り場で書記含めて21人が参加してマズ釣りを行いました。

#### 4、次世代主催「インボイス学習会」の報告(11/17)

支部事務所を会場に50人(講師、書記含む)の参加で行われました。

#### 5、冬の行事「スキー・スノー・温泉ツアー」の報告(1/29)

宝台樹スキー場と宝川温泉を目的地に30人の参加で開催しました。

#### 6、第二弾インボイス学習会

3/27(月)に開催された第二弾インボイス学習会には、全体で27人が参加しました。

#### 7、次世代が「んばらナイト」

11月14日に第1回(参加7人)、2月15日に第2回を取り組みました。

### 【新年度方針】

#### 1、新たな活動家づくりをめざして

①「現役員のつながりを活かして分会次世代対策部長の全分会での選出を目指していきます。」

②「持続可能な組織強化」にそった、「つどい」を開催します。

#### 2、納入率の向上をめざして

①改めて未納対策の強化を図るため、未納者リストの活用を徹底します。「優しい声掛け」で未納者への働き掛けをすすめていきます。

②年間平均納入率98%以上の分会を表彰します。

③役員手当の支給条件

④直接対話のできる「次世代

代が「んばらナイト」に引き続き取り組んでいきます。

#### 2、次世代対策部が中心になる取り組み

①夏休み行事開催に向けては「支部LINE」や「次世代YouTube動画」などを活用し、参加者の確保もSNSを大いに利用していきます。

②年間を通して次世代組合員の結集が高まるような行事を企画、運営していきます。

#### 3、青年部の重点

①組織拡大については、年間で1人以上の実増を目指します。

②2023年11月19日に本部青年部50周年行事が行われます。行事に向けて、青年部の結集を高めます。

## 財政活動について

### 【運動の経過】

#### 1、支出の部

1億428万8434円となり、88.7%の執行率となりました。

#### 2、単年度決算について

単年度赤字が252万9700円となりました。次期繰越金は1528万8710円となりました。

#### 3、組織納入の取り組み

①納入率について  
今年度の組合費の納入率

は、全体で91.5%分会平均納入率は92.2%となりました。

年間平均納入率98%以上の達成分会は、片山分会、北東分会の2分会でした。国保料の当月引き落とし率は全体で、94.2%、分会平均94.0%でした。

#### ②新加入者定着カードと「うえるかむレター」の活用

新加入者への定着カード

の郵送と合わせて、うえるかむレターを郵送してきました。本部方針で決定された新加入者アンケートを組合加入手続き時に実施し、事前の声掛けに役立ててきました。

#### 新年度方針

#### 1、収入の部

新年度予算は、年間平均組織人数を2400人とし、引き続き節約に努めながら、支出をおさえ運動を組み立てます。

#### 3、事業所対策について

納入率向上という側面から拡大統一行動や日中事業所訪問での繋がりがづくりを強化していきます。

#### 4、新年度の取り組み

①班会議への定着と組合費

②年間平均納入率98%以上の分会を表彰します。

#### 5、役員手当の支給条件

今会計年度より、役員手当を半期につき2回以上の参加で支給することとしていきます。また、上半期・下半期のいずれかで2回以上参加できなかった場合でも、一方が2回以上参加をしていれば、該当半期分の手当を支給していきます。

# 新しい年度に向けて

片山分会 納入率平均98%を維持



一年間の労をねぎらいながら

4月19日午後7時より中央公民館において分会大会が開催されました。分会役員、班役員合わせて20人が集まり、新座支部から恩田支部長と担当書記も駆けつけてくれました。まず、今年度の総括、反省、会計報告がされ組合費の納入率が年間平均98%以上を維持できたことはコロナ禍であつても分会役員の協力と努力が結果に繋がつたと確認しました。

来年度の役員の確認後、資料に沿って話し合いをし、来年度に向けての行動も確認しました。分会役員から住宅デーについて、場所の確認や内容に関する提案があり、分会で討議しました。それから日曜日のバスハイクの準備の確認も行い、一年間お疲れ様と言葉を掛けながらお菓子と一緒に役員手当を渡して終了しました。

【片山 小泉正美】

栄池田分会 活発な意見討議ができた



活発な討議意見中

桜の季節もあつという間に過ぎ、いきなり夏がやって来そうな4月16日に栄池田分会大会は栄中央集会所にて行われました。日曜日午前中に23人の参加で、1班多田さんを議長に分会長・支部担当西川副支部長・担当書記の挨拶から始まりました。活動や各専門部の報告方針で被保険者証とマイナンバー、インボイス制度についてなど活発な意見討議

もあつたり、住宅デーの取り組みについての話し合いをしました。そんな中、各分会を訪問中の恩田支部長から「参加数も活発な討議も栄池田は素晴らしい」とお褒めの言葉もいただきました。財政報告の後、新年度役員の選出。副分会長に6班長島さんを新任で選出。桐本さんには次世代部へ移動をお願いし、退任希望の役員さんもいましたが、説得し新年度も引き続きお願いすることになりました。ただ先を見据えると執行委員の若返りが必要なのは、どこの分会も悩みの種でしょう。組合の活動は一人ひとりのチカラが必要で、協力し合いながら頑張るしかありません。

【栄池田 原田毅】

野火止北分会 新しい分会の準備を



野火止北分会の解散打上会の様子

4月16日(日) 15時 30分から、支部事務所

3階会議室で10人が参加して、野火止北分会として最後の分会大会が開催されました。昨年度の活動報告と決算報告が行われ、野火止南分会との合併と班の再編成が承認されました。6月に行われる住宅デーの企画について討議され、合併後の初行事として行うことが確認されました。5月12日(金)に開催

される野火止北分会と野火止南分会の合併大会を経て、新しい分会として、新年度6月からスタート致します。17時30分から、場所を「いちげん新座店」に移して、11人が参加して野火止北分会解散の打ち上げを行いました。今までの野火止北分会の若手が活躍するスピリッツを維持して活動することが確認されました。

【野火止北 岡野和夫】

## 第48回 主婦の会総会



総会で確認された支部役員

4月26日(水) 支部事務所にて会員34人、来賓2人、担当書記の37人で第48回主婦の会総会が開催されました。来賓から頂いた挨拶では、建設業に従事している人が6万人も減っているが昔の様に奥様の力も借りて建設業を盛り上げていきたいと話されました。進行は順調に進み、2022年度の総括と新年度方針が提案され参加者全員から確認されました。今年度の総括では新しい取り組みの成果や三年ぶりのバ



組合からのお祝を受取り

スハイクの報告がされ、新年度はコロナ禍以前の運動に戻るよう予算をたてていただきました。新役員も確認され、帰りにはお花とケントッキーのお土産が参加者に渡されました。

【大和田 高村志津枝】

# 当面の予定

5月	
曜	新座支部
8月	常任執行委員会
9火	支部執行委員会
13日	本部大会
14月	本部大会
17木	第2回大会準備委員会
18金	納入日
19土	
20日	第53回支部大会
22火	分会書記長会議
23水	
24木	第2回住宅デー実行委員会
25金	
26土	
27日	
28月	
29火	
30水	



厚生労働省は3月13日以降マスクの着用は個人の判断が基本。ただし医療機関や高齢者施設を訪問する際はマスクを着用しましょうと声明を出しました。桜の開花と共に人も多くなり、幕張の現場に行くのにも途中にはデイズニードもあり交通量が増えた気がします。

2基のタワークレーンと外部に設置された工事用EVで43階まで3分程で着きますが怖さよりも眺めの良さが一番です。



公園を散歩する人は段々蟻こになり、海、スカイツリー、富士山と見えてきます。高層ビルと言うと地震が心配と思いますが、今の建物は免震構造です。揺れを分散吸収し地震エネルギーを伝わりにくくする免振装置があるので地震の時は上層階がゆつくりと揺れていきます。セールスポイントは環境と安全性なのですが、それを築く職人の賃金も上を目指したいものです。【片山 馬場英俊】

# 現場から見た景色

# クロスワード



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は?

1	2	3	4	5	6
7		8	9		
10				11	
12			13		
14					15
16		17		18	
	19	20	21		
22			23		

本紙の購読料は組合費に含みます

クロスワードの答えは、毎月1日までに「クロスワード」編集部へお送りください。お送り先は〒118-0001 東京都荒川区西日暮野1-1-1 新座支部 編集部 宛です。お送りの際は「クロスワード」の字を必ずお書きください。お送りいただいた答えは、毎月1日までに「クロスワード」の編集部へお送りさせていただきます。

### 機関紙の感想を寄せてください

※以上の方が当選しました。当選者には図書カード(500円)をお送りします。

- ★(野寺) 式守幸重
- ★(石堀) 西守栄治
- ★(片山) 米沼久美子
- ★(栄池田) 石田和子
- ★(野火止北) 橋本千代子

★正解者は8人でした。当選者は左記の通りです。

※4月号の答えは

答え「スポーツクラブ」

タ	ン	ボ	ポ	ク	ラ	ゲ
イ	カ	ス	カ	イ	イ	ン
ク	ブ	ト	マ	ク	キ	リ
ク	ツ	キ	ム	ツ	キ	リ
ア	ラ	ー	ム	シ	オ	ヒ
イ	ボ	ウ	シ	ヤ	ク	ス

# クロスワードの答えと当選者

【編集部一同】